

(7月の野菜の見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年入荷 量(t)	前年占有 率(%)	
はくさい		6,322	100	6,195	60	100	61	-	-	長野産中心の入荷で全体の約6割を占める。長野産は今年は作付けが増えたが、6月の雹害を受けたため入荷は前年並。価格も前年並の見込み。
キャベツ類		15,159	100	15,398	62	113	73	-	-	群馬、岩手産中心の入荷で全体の約8割を占める。主力の群馬産は順調で潤沢な入荷。全体の入荷量は前年並み、価格は前年を上回る見込み。
ほうれんそう		1,189	100	1,102	482	104	586	0	-	岩手、群馬を中心に入荷。今年は空梅雨で6月の出荷は順調に経過した。7月は品質の良い東北産の比率が高まる。全体の入荷量は前年並、価格は前年を上回る見込み。
ねぎ		4,348	98	4,148	253	119	271	16	0.4	国産では、茨城中心の入荷で全体の約6割を占める。7月は2Lの比率が少なく、全体の入荷量は前年よりやや少ない。価格は前年を上回る見込み。
レタス類		8,982	95	8,715	100	130	121	-	-	長野産中心の入荷で全体の約8割を占める。長野産は一部に雹害や降雨による被害が散見される。全体の入荷量は前年より少なく、価格は前年を上回る見込み。

(7月の野菜の見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年入荷 量(t)	前年占有 率(%)	
きゅうり		8,468	97	7,858	168	137	226	313	3.7	福島を中心とする東北産が市況をリードする。福島産は半促成栽培が6月下旬で終了し、露地ものへの切り替わり時期となる。露地の生育は順調で品種はパイロットが中心。ピークは海の日前後。全体の入荷量は前年より少なく、価格は前年を上回る見込み。
なす		4,680	96	4,178	243	119	290	-	-	群馬、栃木等の関東産が市況をリードする。今年は、平年並みの生育であり、全体の入荷量は前年を下回り、価格は前年を上回る見込み。
トマト		9,424	97	8,691	228	105	251	412	4.4	群馬を中心とした関東産の後半ものと青森を中心とした東北産が市況をリードする。群馬産は7月上旬から入荷が始まる。ピークは7月下旬からで8月初めにかけての見込み。生育は順調。青森産の生育は7日程度遅れており、ピークは7月下旬から。全体の入荷量は前年を若干下回り、価格は前年を上回る見込み。
ピーマン		2,468	100	2,321	227	110	272	-	-	茨城、岩手産中心で全体の約9割を占める。全体の入荷量は前年並、価格は前年を上回る見込み。

(7月の野菜の見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年入荷 量(t)	前年占有 率(%)	
ばれいしょ		5,254	95	5,500	132	114	116	-	-	静岡、千葉、長崎産中心の入荷となる。長崎の仕上がり及早まる一方で、関東各地は作付けが減ったことや小玉傾向のため全体的に供給量は少ない見込み。静岡産は男爵・メークイン共に品質良好で小玉ながらも内容は充実しており、販売状況は順調の見込み。全体の入荷量は前年を下回り、価格は前年を上回る見込み。
たまねぎ		10,122	95	10,390	77	123	83	-	-	佐賀、兵庫産中心の入荷で全体の約7割を占める。全国的に小玉傾向であるが、品質は良好。全体の入荷量は前年を下回り、価格は前年を上回る見込み。